

## 1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	④ 3 2 1
・教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4 ③ 2 1
・教育理念・目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1
・理念・目標が教職員・学生・生徒に浸透しているか	4 ③ 2 1

### 〔現状の問題点〕

今年度も【社会に通用する人材育成】という教育目標を掲げ、学校教育を行ってきたが、個人の能力差を踏まえた上で個々の目標設定を図ることができなかった。

教育目標を具体化させ、段階的に達成できるようにしていく必要がある。

スローガンとして基本に立ち返り、「きちんと叱る！ちゃんと誉める！」を掲げ、職員意識の改善を図ったが、非常勤に対し、浸透が不十分であった。

### 〔改善のための方策〕

教育理念および目標について、社会状況の変化にあわせ見直しを検討し、必要に応じ改変し、来年度の学生の手引きに反映し、教職員および学生への周知徹底を図る。

教育目標実現に向けての短期・中期・長期的な計画を立て実行していく必要が有る。

学校行事等にも教育理念を意識して取り入れて行く事で教職員・生徒・学生に認識を図る。

教育目標を具体化させ、粘り強く指導していく。

### 〔結果検証〕

## 2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・カリキュラムは教育目標が反映されているか	4 3 (2) 1
・定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4 3 (2) 1
・テキストや教材は適切なものを選定しているか	4 (3) 2 1
・シラバスが作成され学生に配布されているか	4 (3) 2 1
・授業の点検・評価が適切に実施されているか	4 (3) 2 1
・資格試験の合格率はどうか	4 (3) 2 1
・資格試験不合格者の対策は適切であるか	4 (3) 2 1
・評価は適切な方法で行われているか	4 (3) 2 1
・目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4 (3) 2 1
・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	(4) 3 2 1

## 〔現状の問題点〕

教育目標に沿ったカリキュラム編成を業界での人材ニーズに照らし合わせて検討していく必要がある。  
今年度から科目毎にシラバスを作成し、学生に配布した。  
学力の幅にあった指導体制の確立。

各授業担当者に、授業後、毎回報告書を提出することを義務づけ、生徒指導、授業力向上に役立てた。  
授業報告書が未提出の教員がいたので管理の徹底を図る。

資格試験の合格率は全国平均を上回るものがあったが、全国平均を下回るものも多々あったため  
より充実した指導を行っていく。

## 〔改善のための方策〕

カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映させていく必要がある。  
科目毎の細かなシラバスを学生配布用に作成し、学生への計画立案へ役立てる。  
低学力の生徒に対しての補習授業、意欲ある生徒に対する特別講座をより充実させる。  
試験対策講座を放課後に行い、検定合格者を向上させる。  
授業アンケートの計画的な実施。定期的に教員間での研究授業等の検討。  
授業終了後は授業担当者に毎時間、報告書を提出させ、生徒の授業を受ける態度や授業内容を記入してもらい、  
授業、生徒管理の徹底を図る。

## 〔結果検証〕

## 3. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集のための広報資料の表現・内容ならびに広報活動の方法・時期は適切か	4 (3) 2 1
・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4 (3) 2 1
・募集要項の内容は適切か	4 (3) 2 1
・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4 (3) 2 1
・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4 (3) 2 1
・志願者状況、定員充足率はどうか	4 3 (2) 1
・中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4 (3) 2 1

## 〔現状の問題点〕

本年度の学生募集において、単願率は向上したが、総受験者数が減ったため広報手段等の見直しが必要である。

定員充足率については、専門・高等課程ともに極めて低い充足率であるため、早急な改善が求められる。  
また、学科・コースにおいて充足率も違うため検討が必要である。

中途退学は、経済的な理由が最も多く、ついで学習成績不良が原因である。

## 〔改善のための方策〕

広報などに、授業評価アンケートの結果や学校評価などの結果を積極的に掲載することを検討する。そのことによってよりオープンな学校のイメージを伝えることで、入学前に学校の適正な理解を深めることとする。

学業成績不良者には、各学期ごとにきめ細かな指導を行い、必要に応じて保護者（保証人）を含めた面接を実施することで改善を促す努力を引き続き行う。

前年度実績と効果を検証し、計画的な高校訪問、高校説明会、会場説明会等の広報募集活動を行う。

体験入学の参加者増を目指し、内容を検討する。

## 〔結果検証〕

## 4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・専任教員は設置基準を満たしているか	4 3 (2) 1
・専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	(4) 3 2 1
・教職員の業務分掌は明確になっているか	4 (3) 2 1
・教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	4 3 (2) 1
・教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4 (3) 2 1
・職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4 3 (2) 1

## 〔現状の問題点〕

教職員の各種の研修会を実施してきたが、十分に成果が見られたとは言えない

教職員の能力、業務内容の評価は実施しているが、明文化がないのが現状である。

生徒の個別の問題については、担任や学年の先生が主で行うが、精神的に弱い生徒に対するスクールカウンセラー等がいてくれれば、より充実した指導が行える。

財務的な問題により、専任教員の数が少ない。

## 〔改善のための方策〕

本年度も教職員の校内研修を実施し、継続しながら資質向上を図る。

各教科、各分掌との連携を更に検討し、より有効な研修をテーマに設定する。

教職員の能力、業務内容の評価を少なくとも年度末に行い、明文化する。

学生、生徒への授業評価アンケートや、学校評価アンケート等を行い、結果を教員にフィードバックし

教員の能力向上、授業改善へ活かしていきたい。

校務分担による分掌を理解し、年間計画、実施、検討のための定期的な小会議を実施する。

教職員に対するアンケートを行い学校運営の改善を図る。

財務面を見直し、専任教員を増やし、より効果的な教育を行っていく。

## 〔結果検証〕

## 5. 施設、設備

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習設備は整備されているか	4 ③ 2 1
・講義室・実習室の管理は適切に行われているか	4 ③ 2 1
・学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1
・図書室は適切に整備されているか	4 3 ② 1
・保健室は適切に整備されているか	4 3 ② 1
・教育用機器備品は整備されており活用されているか	4 ③ 2 1
・教職員室の管理は適切に行われているか	4 ③ 2 1

## 〔現状の問題点〕

学科毎に老朽化した設備・機器を見直し改善していく必要がある。  
 図書室の蔵書についてよりいっそうの充実を図る必要がある。  
 教育機器備品は整備されているが、一部活用がされていないものがある。

## 〔改善のための方策〕

庶務課により定期的に状況把握、管理及び環境整備計画案を図る。  
 図書室の蔵書の充実を図る。  
 教務との連携を図り、授業内での活用を模索する。  
 教育機器備品を整備し、活用していく。

防災については緊急時の組織体制を定め、防災訓練を毎年実施し、地震や火災の際の避難動作や経路を教職員や学生に周知するよう努めていく。

## 〔結果検証〕